

へきなん

議会だより

平成20年
3月市議会定例会

- 審議された議案 ——— 2~3
- 市政を問う・総括質疑 4~7
- 議会の窓 ——— 8

発行 碧南市議会 碧南市松本町28番地
電話 0566-41-3311 FAX 0566-41-9900
ホームページ
<http://www.city.hekinan.aichi.jp/>



平成20年度当初予算などを審議

議案33件と請願

平成20年3月市議会定例会は、2月18日から3月13日まで25日間の会期で開催し、会期中に同意議案1件、条例議案14件、議会提出議案1件、補正予算議案3件、当初予算議案10件（撤回1議案）、その他議案3件、報告議案1件の合計33件を審議しました。

一般会計当初予算議案については撤回され、再提案されて可決、ほかの議案は原案どおり議決（可決）しました。

また、2件の内容の請願を審議、賛成少数で不採択となりました。

3月市議会定例会

議案

選任の同意

- 碧南市固定資産評価審査委員会委員の選任

現委員の鶴田光久氏が任期満了となるので、同氏を再び選任することに同意しました。任期は3年間です。

条例等の改正

- 土地区画整理事業による町の区域変更に伴う整理条例

● 碧南市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

選挙のときの投票立会人等の報酬額を増額しました。

- 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

- 碧南市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

6千円増額する改正です。分べん料を平均で約4万

- 碧南市看護師等修学資金

貸与条例の一部を改正する条例

修学資金を4万円から6万円に増額するものです。

- 碧南市在宅ねたきり老人等福祉手当支給条例の一部を改正する条例

● 碧南市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

介護保険料の激変を緩和する措置を、18・19年度に引き続き行う改正です。

- 碧南市国民健康保険条例の一部を改正する条例

● 碧南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

65歳以上の被保険者の世帯主に対し、10月から特別徴収を行う改正です。

- 碧南市後期高齢者医療に関する条例

4月から始まった後期高齢者医療の市の事務、被保険者、保険料の納期などを定めました。

- 碧南市児童クラブの設置及び管理に関する条例及び碧南市立幼稚園の保育料に関する条例の一部を改正する条例

改正する条例

- 碧南市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例

● 明石公園遊具等の管理に関する条例の一部を改正する条例

明石公園に導入するコースターの料金を定めました。

- 碧南市大浜陣屋広場の設置及び管理に関する条例

● 碧南市議会委員会条例の一部を改正する条例

補正予算

- 平成19年度碧南市一般会計補正予算（第3号）

歳入・歳出それぞれ4億8550万7千円を減額し、歳入歳出総額を312億8754万5千円としました。

▽財政調整基金積立事業
▽私立保育園補助金返還事業（みどり保育園）

▽公園緑地費臨時事業等

- 平成19年度碧南市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）

歳入・歳出それぞれ14万8千円を追加し、歳入歳出の総額を1442万8千円としました。

- 平成19年度碧南市介護保険特別会計補正予算（第3号）

保険事業勘定の歳入・歳出それぞれ1億2002万円を減額し、歳入歳出の総額を30億6281万9千円としました。

その他議案等

- 碧南市土地開発公社定款の一部変更について
- 債権の放棄について

社会福祉法人みどり乳幼児福祉会に対する債権、2222万4千円が返還不能のため放棄するものです。

- 市道路線の認定について
- 損害賠償に係る専決処分について（報告）

請願結果

- ポートピア建設に反対する決議を求める請願（不採択）

無記名投票による採決で賛成少数、不採択となりました。

- 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願（不採択）

新年度予算

平成20年度の一般会計当初予算は3月13日、本会議最終日に予算が撤回され、新たに美術館運営費を約3800万円減額した予算が上程され、可決となりました。

平成20年度一般会計の、主な事業をご紹介します。

● **議会費**
▽議会インターネット映像配信事業

● **総務費**

▽市制60周年記念事業
▽第5次総合計画策定事業

● **民生費**

▽ふれあい作業所運営検討委員会運営事業

▽地域活動支援センター事業
▽障害福祉計画策定事業
▽碧南市高齢者ほっとプラン策定事業

▽社会福祉法人選定事業
▽後期高齢者医療保険事業
▽後期高齢者福祉医療費支給事業

▽鷺塚保育園園庭等整備事業



▲整備されてきた臨海公園

▽生活習慣病対策事業（小学生の一部を対象）

▽マタニティマーク普及啓発事業

▽環境基本計画推進事業

● **労働費**
▽青少年女発明クラブ運営事業

● **農林水産業費**
▽食育推進計画策定事業

● **商工費**
▽商店・商店街活性化支援事業

● **土木費**
▽矢作川堤防リフレッシュ事業

▽曳舟橋橋梁改修事業

▽市道中町前浜線改良事業

▽臨海公園整備事業

● **教育費**
▽大浜小学校校舎等改築事業

▽新川中学校本館屋根防水改修事業

▽棚尾幼稚園園舎改築事業

▽中央幼稚園園舎等整備事業

▽西端幼稚園園舎等整備事業
▽旧大浜警察署外観整備事業
▽図書館システム更新事業
▽へきなん芸術文化村改修事業

▽企画展開催事業
▽臨海体育館空調等整備事業

平成20年度予算

平成20年度の一般会計、各特別会計、水道事業会計と病院事業会計を合わせた歳出総額は、548億9,947万3千円で、前年度の当初予算と比較して、28億1,073万6千円の4.9パーセントの減額となりました。詳しくは、広報へきなん4月15日号をご覧ください。

[平成20年度 予算総括表]

会計名	平成20年度当初予算額	前年度との比較	伸率
一般会計			%
	289億3,072万4千円	△9億 509万9千円	△3.0
特別会計	140億5,999万6千円	△29億2,387万円	△17.2
国民健康保険	63億5,030万3千円	3億1,293万1千円	5.2
老人保健	8億5,640万9千円	△40億1,628万4千円	△82.4
交通災害共済事業	1,457万6千円	29万6千円	2.1
公共下水道事業	29億5,798万7千円	7,218万8千円	2.5
訪問看護事業	4,002万円	440万8千円	12.4
介護保険	32億5,125万1千円	1億1,314万1千円	3.6
後期高齢者医療保険	5億8,945万円	—	—
企業会計	119億 875万3千円	10億1,823万3千円	9.3
水道事業会計	20億8,441万1千円	1億6,894万2千円	8.8
病院事業会計	98億2,434万2千円	8億4,929万1千円	9.5
総合計	548億9,947万3千円	△28億1,073万6千円	△4.9

市政を問う

3月市議会定例会 総括質疑

8人の議員が市政の課題や今後の方針などを質問

3月市議会定例会は、2月18日から3月13日までの25日間開催、8人の議員が平成20年度の市長の施政方針や教育長の教育行政方針、当初予算などに対し総括質疑をしました。この中から、主なものを要約して掲載します。各議員の質疑と執行部の答弁の内容をすべてお知りになりたい方は、3月定例会会議録を（5月下旬発行予定）、市民図書館各公民館、またはインターネットでご覧ください。総括質疑の収録ビデオテープは、市民図書館で貸出しをしています。

子育て・高齢者福祉
日本一をめざして
山口 春美

問 中学生通院費の無料化、幼稚園保育園の年長さんまで3人目の保育料無料化、妊婦医療費無料化など他市

で行っている子育て支援を全部行って、日本一の子育てしやすい碧南市に。

答 保育料無料化は、保育園で250人3800万円、幼稚園で74人820万円。妊婦医療費無料化には450万円が必要。実施は現在のところ考えていない。

問 75歳以上に高負担と差別医療になる後期高齢者医療制度の中止を国に求めるべき。4月から市独自に実施する75歳以上一人暮らし非課税者約280人への医療費無料化を評価する。さらに対象者を75歳全体に拡充すべきでは。

答 国の制度に沿って行う。医療費無料化は年金だけの非課税者1300人を対象にすると、8290万円が必要。

問 20年度県に償却資産税分を召し上げられ、道路特定財源の一般財源化、法人税再配分等の影響をかんがみ法人税を14・7%に引き上げる時期に来ている。

答 県課税分は2億4700万円を計上。まだ引き上げの状況にはないと考える。

場外舟券売場と
水道料金引き下げを
下島 良一

問 場外舟券売場計画の住民投票結果で反対多数となった中松町、大浜上町両町内会長は、計画に「同意しない」と町民に表明した。住民の意思を尊重するか市長の見解を。

答 住民の意思は尊重する。今回の計画は取りやめざるを得ない状況になったものと理解している。

問 推進派は地域の安全を守るパトロール隊を組織し、4月から始動開始とのこと。これは市と相談



▲議会に提出されたボートピア建設に反対の請願

の上のことが。
答 市に事前の申し入れ、相談はない。

問 碧南市の水道は20ミリ口径の基本料金が1600円、大府市の500円に比べて1ヶ月で1100円も高い設定。13ミリ基本料金の600円に引き下げて料金格差を縮め公平に。

答 20ミリの基本料金の引き下げはできない。

問 くるくるバス事業を競争入札で行えば、運転手の雇用が不安定になり賃金が下がる。中止を。

答 競争入札で行う。



▲支援策で、日本一子育てしやすい碧南に

**地球温暖化対策、
浸水対策について**
岡本 守正



▲市内のCO₂排出量の把握と削減を

問 地球温暖化で、今年より京都議定書の約束が始まる。CO₂の約13%削減が必要だ。中電碧南石炭火力発電所は県内CO₂の25%を排出する。総量規制を。また市内CO₂排出量の把握をし、環境基本計画に明記を。

答 中部電力のCO₂排出量削減計画に基づき、県、

中電と連携調整し環境保全をお願いする。市内全体のCO₂排出量を把握したうえで、削減計画を環境基本計画の改定に盛り込めるよう計画的に進める。

問 自然エネルギーの活用が世界的課題だ。住宅用太陽光発電、太陽熱利用の補助制度の拡充を。

答 現行の補助内容を継続していく。

問 笹山町、荒子町、市道敷下東山線道路の浸水対策で、旧連合用水の大改修を。県営油ヶ淵水辺公園計

画、道路計画に合わせて施工していく。

問 矢作川浚渫砂の有効利用で、見合町、北浦町の田のかさ上げに利用を。

答 すべて他に利用予定がある。今後、公共事業の再生資源活用は、積極的な調整を図る。

**棚尾まちづくりと
地震防災対策**
生田あきひさ

問 平成20年度予算で、新規事業の棚尾まちづくり推進事業が計上された。今後の進め方と事業規模を問う。

答 委員長に奥田雪雄氏が選ばれ、委員は34名。アドバイザーとして愛産大大学院教授延藤安弘先生に依頼し、会合を重ねる中でまちの良さや課題を洗い出し、景観との関連にも考慮して推進したい。

現時点では事業規模は未定だが、名鉄三河線跡地の利活用も課題となってくるものと考えている。

◀ 新規事業の棚尾まちづくり推進事業



問 深夜での地震発生に対応、洪水・大雨による対応を問う。

答 職員の参集基準は深夜も同じで、係長以上は携帯電話を活用した緊急通報メールサービスにより初動体制が取れるようになっており、夜間対策の備蓄品として避難所や防災倉庫に発電機と投光器を配備している。

市役所本庁舎の浸水対策は設計において道路より床面を高く設計しており、地下の床面の全てに排水側溝がされ、安全な構造である。

**債権放棄問題と
美術館開館問題**
杉浦 和彦

問 みどり保育園に対する債権放棄は、行政不信を招く。市長の行政責任こそ優先すべきと考えるが。

答 回収不能であり、やむを得ない。再発防止を図り行政信頼に努めたい。

問 県への補助金返納はすべきでない。その根拠を問う。

答 不適正な補助金支出に對して、県の規則等に基づき返還を求められたもの。

問 美術館開館にあたり、館長人選と運営方針を問う。

答 館長には県美術館副館長の木本文平氏を迎える。藤井達吉の顕彰、教育普及活動、まちづくり文化の拠点として市民に親しまれる美術館づくりを進める。

問 資料収集と特別展のあり方を問う。

答 資料収集は寄贈、購入があるが貴重な資料は収集したい。特別展は年数回程度、テーマを決め、市民二



国天洋食品および話題となったマッシュルームは、使用していない。中国製造食品の給食食材は、事件後中国産を使用しないことにした。

問 地場野菜の利用を問う。

答 青果物のバナナはフィリピン産、キウイフルーツはニュージーランド産で、その他すべて国内産の青果物を使用している。

ーズを把握し市民参加型の企画展を考えていく。

問 (仮)ふるさと館の構想はどうなっているか。

答 当面は美術館で調査研究を行い、将来的には歴史博物館的な施設の需要は高まると予想される。

学校給食と道路整備について

原田ちよ子

問 学校給食の冷凍食品、輸入野菜について問う。

答 全国で問題となった中

問 学校給食センターの食器の再利用について問う。

答 9月の2学期から第2学校給食センターは移転し、食器もメラミン食器に変更するので、市内のボランティア団体等で再利用していただく予定。残った食器は、市内の防災倉庫、碧南市防災の家に保管する。

問 側溝整備について問う。

答 三度山町地内の側溝整備事業は、時間が必要。上町地内は20年度に対応する。

問 西端小学校西交差点の

渋滞解消整備を要望する。

答 交差点の拡幅だけでなく路線全体を検討し、県に道路整備を強く要望する。

◀ 渋滞の西端小学校西交差点



地震対策・環境・病気予防について

大竹 敦子

問 避難所間仕切り・仮設トイレの整備計画は。

答 市内35ヶ所の全避難所に今後5年間で整備する。

問 同報無線を市内全域へ配置してはどうか。

答 同報無線とそれ以外の方法との費用対効果を検討する中で、考えていきたい。

問 企業・事業者への建物の耐震強化の働きかけは。

答 今後「碧南市建築物耐震改修促進計画」を進めていく中で検討していく。

問 レジ袋を減らすための市としての取り組みは。

答 県において「レジ袋削減取扱店制度」が創設され、現在、当市でも推進している。今後「レジ袋有料化」「ポイント制」など県の方針に沿う形でレジ袋削減方針を追求していきたい。

問 まちかどイルミネーション事業の時間短縮を。

答 実行委員会に提案する。

問 特定健康診査の概要は。

答 40歳以上の国保被保険者が対象で、自己負担なし。案内と受診券を送付する。

◀ レジ袋削減の推進を



問 肺炎球菌ワクチンの公費助成をしようか。

答 現在は考えていない。

平成20年度予算施政方針について

竹内 廣治

問 碧南市の歳出改革について。

答 経費削減手法として、前年度の決算数値を踏まえて検証するサマーレビューに基づき、経常経費の節減、各課一事業以上の見直しを

義務付けている。

問 美術館の20年度の人件費を含めた総予算は。

答 維持管理費3800万3千円、事業費5992万5千円。人件費3305万6千円、臨時職員4人分で695万5千円。美術館の管理運営費の合計は、1億3793万9千円となる。

問 防犯について、臨海部の照明灯設置と防犯環境の整備状況は。

答 臨海部市道沿いの現地調査を行う中で、防犯灯設置計画書に基づき、ナトリウム灯の新設28基、移設1基を実施し、平成19年3月に設置をした。

問 碧南高浜線改良事業で緑地の整備計画は。

答 雨池町付近と名鉄三河線との立体交差点付近で、沿線の景観に配慮した緑地および歩道の整備をしている。



▲3月に開通した都市計画道路碧南高浜線と塩とり橋



▲議会史編さんに携わった編さん委員のみなさん

碧南市議会史 第2巻 発刊

市制60周年を迎えるにあたり、昭和57年以降の碧南市議会の変遷や活動実績と、議会が関与した市政の主な経過をまとめた「碧南市議会史 第2巻」が完成、発刊となりました。

昭和58年4月に発刊された「碧南市議会史」を受け、昭和57年から平成19年までの約25年間を収録しています。

内容は、記述編と資料編

の2分冊。記述編では議員任期の4年間ごとを各章にまとめ、記述しています。

資料編は市議会の主な活動記録、関連する資料を収録しています。

市内の各図書館や公民館に備え付けてありますので、ぜひご覧ください。

(記述編)

○第九章(二) 昭和57年～

文化と活力のある港湾都市へ

○第十章 昭和59年～

対話と協調で町づくりを

○第十一章 昭和63年～
ゆとりと生活重視をめざした市政の展開

○第十二章 平成4年～
不透明な時代での市政の進展

○第十三章 平成8年～
市民参加による公平な市政の推進

○第十四章 平成12年～
住みよいまちづくりと健全

財政の確立

○第十五章 平成16年～
地方分権と安心・安全な都市づくり

○別章
特別委員会等の活動

○別章
特別委員会等の活動

(資料編)

○第一章
市議会の活動

○第二章
市議会の組織と運営

○第三章
選挙

○第四章
財政

○第五章
市議会の諸般

○第六章
役職者名簿

議会の窓

道路特定財源と食糧問題

経済建設委員長

委員長 岡本守正

今、大問題になっているガソリンなどにかかけられている税金、道路特定財源5兆4千億円は、全て道路建設に使われていると思っていたが、まちづくり交付金の40%に使われている。

市では大浜、西端地区まちづくり事業が進んでいる。大浜歩いて暮らせる街づくりは、5年間で事業費約50億円、そのうち30億円が市税、20億円はまちづくり交付金となっている。この交付金のうち8億円は道路特定財源である。このように道路特定財源が道路づくりに以外に使われているならば、これを一般財源化して、必要な生活道路、福祉、教育、子育てに市民生活に、

必要などころへこの税金を使うようにすべきである。

また、食糧問題では中国産冷凍食品に殺虫剤混入で、わが国の食糧自給率を考えさせられた。日本の食糧自給率は世界でも異常な39%まで低下している。日本を除く先進11カ国の平均は、103%。国の農業予算も08年度は2000年度に比べ8700億円も削減された。食糧をめぐる国際情勢は激変し、輸入穀物を原料とする食品や飼料が相次いで値上がりしている。

「食糧は外国から安く買えばいい、国の予算を非効率な農業に使うのはムダ」の考えを変えるべき。農業者と消費者の共同の輪を広げ、「食の安全」と食糧自給率を上げ、国民の生命を支える食糧の安定供給をみんなで考えよう。



▲自給率39%、必要な食糧の安定供給

6月定例会は 6月12日(木)に開会予定

6月市議会定例会の本会議第1日は、6月12日(木)に開会し、会期日程は27日(金)までの16日間の予定です。

この定例会の日程は6月3日(火)開催の議会運営委員会(火)開催の議会運営委員会で決定します。会議後に議会議務局(☎41-3311)でご確認ください。

本会議の開会時刻は午前10時です。傍聴者は先着順に受け付けます。

6月定例会の予定

6月 3日(火)	議会運営委員会 招集告示日
4日(水)	一般質問
12日(木)	本会議第1日 市長招集あいさつ
13日(金)	本会議第2日
16日(月)	本会議第3日 議案上程など (予算審査特別委員会)
18日(水)	総務委員会
19日(木)	福祉文教委員会
20日(金)	経済建設委員会
23日(月)	まちづくり事業特別委員会
24日(火)	臨海対策特別委員会 (予算審査特別委員会)
25日(水)	議会運営委員会
27日(金)	本会議第4日

一般質問の様様を「キャッチ16ch」午後6時から放映します。
(6月12日分は14日に放映)
(6月13日分は17日に放映)



こちら編集委員会

この号が皆さんの手元に届くころ、桜の開花、入学式も終わり、まもなく花しょうぶの季節を迎えます。私の編集委員の任期も終わりますが、新年度もよろしく。【陣】

碧南市は、今年市制60周年を迎えました。論語に「六十にして耳順がう」とあります。市は市民の声によく耳を傾け、名実共に心の通う街、碧南市の構築を！【大竹】

3月議会は波乱づくし。予算が2度も特別委員会でも否決。美術館予算を削減に。ギャンプル場の撤回と共に住民世論が政治を動かしています。変えよう政治！【山口】

真新しいランドセルやスーツ姿がまぶしく見える今日この頃、私たち市議会議員も選挙を終え22名で一新します。これからの未来を夢見て頑張りましょう。【石川】

環境問題をテーマにした映画「アース」を観て来ました。人間が犯した過ちをまず自然、生物が影響をうけ、次第に人間に大きな問題として戻ってくる。こどもたちの未来を大切に。【磯貝】

市議会史が市制60周年の節目の今年、発行。5人の編さん会専門委員の方々が資料収集に始まり編さん、記述まで時間をかけての集大成です。ご苦労様でした。【樺山】

今年は4年に一度のオリンピック開催の年。アメリカ大統領選挙そして私たちの町では、碧南市長選挙と市議会議員選挙の年でした。【杉浦】

議会のことば-----議員定数

人口により議員定数の上限を、地方自治法で定めています。碧南市の上限は30人ですが、市の条例で定数を減員し、この平成20年5月より、今までの26人から22人となりました。また常任委員会の各委員会も、総務7人、福祉文教8人、経済建設7人とそれぞれ減員しています。

昭和23年の市制施行当時は議員数30人、その後昭和31年から28人、平成12年から26人、そして現在の22人となっています。